



2025



COMPETITION

最終(第 3 節結果)報告書

2026年3月11日

一般社団法人日本ドッチビー協会



【本大会の開催について】

今回、参加希望があったら全て受け入れることを前提にリーグ戦開催にトライしました。

締切らないとチーム数がわからない、実施する試合数もわからず、開催日数も確定されないことになります。

すなわち募集要項を出す段階では何一つとして確約できない状況になります。

この形式での大会開催はある意味で挑戦とも言えるものと考えていますが、この決断した背景には来年2月に至る期間中、適度な間隔で3日間の会場確保が実現したことにあります。

この挑戦のきっかけをくださった千代田区ドッチビー協会には心より感謝いたします。ありがとうございます。

また、挑戦はひとつだけではなく、二つ目の挑戦として過去、ゴールドドッチは男女ミックスを基本のチーム要件で大会をおこなってきましたが、この要件を満たせず参加を断念するチームが少なからず見受けられ、この解消を図るための構成要件のお手伝いと、協会が標榜する smile for All の象徴的な体験機会を創設する新しい仕組みに挑みました。

さらに三つ目といえる新しい試みとして参加者が納得する、しやすい大会運営を目指す姿勢を明確にする意味で大会実施以前にキャプテン・ミーティングをリアル開催して選手の生の声を聴いて運営に反映させるとともに、少しでも運営側の面白さを知っていただくことで将来の運営する側の人材養成につながるなどを標榜し、試合のフィールドではなく、会議室でおこなう「行事」の開催をおこないました。

【大会実施 基本概要】

参加全7チームが総当たりリーグ戦を2回づつ、1チームあたり12試合の対戦をします。

9/21、11/9、2/22の3節(3回の開催)で全42試合の対戦を消化していきます。

BEE LEAGUE 2025		GOALDODGE COMPETITION 【対戦表】																	
<small>※ 試合形式 7分00秒の前・後半 ハーフタイム2分 トータルスコアが多いチームを勝者とする。後半の開始は前半と逆コートに移動。最初の攻撃権も逆とする。 ※ 順位決定は勝点制を採用。勝ち=3ポイント、引分け=両チームに1ポイント、負け=0ポイント 勝点が同点の場合、得失点→得点→失点 の順に優位順を決定する。</small>																			
<small>A~Gはキャプテン会議での抽選で決定とする A・B・D・Eは4+2試合 / F・Gは3+3試合の2日間、Cのみ2+2+2試合の3日間、出場となる</small>																			
	S1~S12	SEP 9/21	実施の12試合																
	N1~N10	NOV 11/9	実施の14試合																
	F1~F10	FEB 2/22	実施の16試合																
	A	勝点	B	勝点	C	勝点	D	勝点	E	勝点	F	勝点	G	勝点	勝点合計	得点	失点	得失差	最終順位
A			N1/N8		N3/N10		N5/N12		N7/N14		S1/S7		S3/S9						
B	N1/N8				N6/N13		N4/N11		N2/N9		S6/S12		S5/S11						
C	N3/N10	N6/N13					F1/F9		F7/F15		S4/S10		S2/S8						
D	N5/N12	N4/N11	F1/F9						F3/F11		F6/F14		F4/F12						
E	N7/N14	N2/N9	F7/F15	F3/F11							F5/F13		F8/F16						
F	S1/S7	S6/S12	S4/S10	F6/F14	F5/F13								F2/F10						
G	S3/S9	S5/S11	S2/S8	F4/F12	F8/F16	F2/F10													

【競技要項】

使用ディスク	公式M I K A S Aモデル 270
対戦人数	4人 v s 4人でおこないます。
対戦時間	7分の前・後半 ハーフタイム2分
対戦形式	後半の開始は前半と逆コートに移動。最初の攻撃権も逆とします。
順位決定	前後半のトータルスコアが多いチームを勝者として勝点制を採用。 勝 = 3ポイント、引分け = 両チームに1ポイント、負 = 0ポイント 同点は得失点 → 得点 → 失点 の順に、他規定の優先順によって全順位を決定します。

【参加料】

1チームの総当り試合の全て、シリーズ一式で1チームあたり¥28,000円
※リーグ戦全戦を通しての一括した参加料となり、税・傷害保険加入費は込み、

ひとりあたりの負担例	～	5人でエントリーの場合	➡	一人あたり@5,600-
		7人でエントリーの場合	➡	一人あたり@4,000-
		8人でエントリーの場合	➡	一人あたり@3,500-
		14人でエントリーの場合	➡	一人あたり@2,000-

【大会申込みにおけるチームの選手構成について】

▲《MIXチームの構成要件》

本大会へ参加する《MIXチームの構成要件》は試合中、① ②の選手が常に出場できるように複数名が存在する構成を目標にさせていただき、募集しました。

- ① 女性 (小学5年生以上、上限はなし)
- ② 小学5/6年、中学1年生(性別不問) ～ 以降① ②の選手を<MIX要件者>と表します

▲総当りリーグ戦のため今大会は運営上、1日の試合数が多くなることもあり得ます。

そのため<MIX要件者> 1名の場合は試合中の交代が不可能となるため安全管理上、構成要件を満たしたとのとはしないこととして、2名以上のチーム構成を目指していただきました。

▲過去《MIXチームの構成要件》がハードルとなって出場できないチームが存在したことを認識する中、今回は逆にハードルを上げることに他ならず、この解消となる仕組みや運営案を試したいと考えた結果、主催者が窓口となり<MIX要件者> ②の個人エントリーを受付けて《M I Xチームの構成要件》を満たせないチームへのマッチングをおこないました。

▲これによって、今大会では《MIXチームの構成要件》を満たせないチームのエントリーも受け付けますが大前提として個人エントリーがあった<MIX要件者> ②を大会当日、チームへ受け入れ試合に臨むことが条件となります。

また、新たな試みの仕組みにて個人エントリーが集まらない、マッチングがうまくいかないなど不測の事態があり得ることを予め、ご了解くださいますように事前に各チームへお願いしました。

△<MIX要件者> ①および②だけで構成するチーム、①と②の混成チームはもちろん参加可能です。

【本大会特別ルール】

●アドバンテージスタート

MIX 要件者の構成人数を【満たしたチーム】VS【満たさないチーム】の対戦は 2 - 0 で開始される

●アドバンテージポイント

MIX 要件対象選手は試合中、ビブスを着用。ビブスを着用した選手のゴールイン得点は 2 点となる。

●個人賞

集計方法 / 全ラウンド、全試合終了後、全ての試合結果を主催者が全体集計して発表する。

(各ラウンドでの集計・表彰はない)

- ・M V P 賞 ~ 毎試合対戦相手チームのメンバーの中から自チームメンバー全員による合議でそのゲームにおいて優秀だったと思う 1 名を選出して投票する。
- ・ゴールセーブ賞 ~ PT エリア内でキーパーとしてプレーした時のゴールを防いだ回数を個人別に集計。
- ・ゴールゲット賞 ~ ディスクをゴールインさせた回数を個人別に集計。

※個人表彰のゴールゲット集計はゴールにインした回数をカウントします。

アドバンテージポイントは試合のスコアにおいてのみ有です。

※上記の大会特別ルールと個人表彰制度は 9/6 に千代田区麴町区民館で開催したキャプテン会議において選手代表によって決定された事項になります。

【第 3 節 概要】

名 称 ビーリーグ 2025 ゴールドタッチ大会

BEE LEAGUE2025 GOALDODGE Competition

開催日 2026 年 2 月 22 日(日曜日)

会 場 千代田区立麴町中学校 体育館

主 催 一般社団法人日本ドッチビー協会

主 管 千代田区ドッチビー協会

協 力 お茶の水キッズスポーツクラブ(ドッチビー部)

協 賛 文化シャッター株式会社 / 株式会社ラングスジャパン / 株式会社クラブジュニア

【第3節 個人申込みについて】

<MIX 要件者> ②小学5/6年生、中学1年生の個人エントリーを以下の通り受けました。

※個人エントリーの費用はかかりません。(無料)

一応の定員を12名として申込みやマッチングの優先順を下記のように設定します。

【優先1】千代田区内在住者 【優先2】調布市内在住者 【優先3】条件対象者全般

=====
【優先1】 千代田区内在住の個人エントリー申込み希望者は
 千代田区ドッチビー協会宛てに参加希望のメールを送信

→ dbachiyoda@gmail.com

【優先2】 調布市内在住の個人エントリー申込み希望者は
 調布市ドッチビー協会宛てに参加希望のメールを送信

→ dbchofu@gmail.com

【優先3】 対象者全般 個人エントリー申込み希望者は
 日本ドッチビー協会宛てに参加希望のメールを送信

→ support@dbja.jp

※個人エントリーの結果、千代田区から4名（中1×2名、小5×2名）の申込みがありました。

2/10に参加チームのメンバー登録を〆切まして人数が確定、本大会の独自システムである要件者の数などが判明しましたので2/11から各チームへ連絡をして個人申込み選手の受入れについて調整をおこないましたが今回**はどこのチームも受け入れが出来ないという返答**が帰ってまいりました。

主催者としてこのような状況が発生することは想定外だったため、驚いておりますが基本的な責任は各チームではなく、主催者にあると思っておりますので調整というよりも各チームには再度、お願いをしてみたのですが諸事情はそれぞれ異なりますが、納得せざるを得ない事情の受入れは不可能との回答でした。

よって**残念ながら第3節では個人エントリーの4名の方に今回は出場できない**というお知らせをいたしました。

心よりお詫び申し上げます。
誠に申し訳ございませんでした。



【第3節 概況報告】

朝から快晴の中、参加7チーム中、第2節に対戦が終わった2チームを除く5チームが集い恒例の千代田区立麹町中学校でおこなわれました。

今節ではアドバンテージポイントが過去、2戦と同様に適用されました。

またMIX要件者の構成人数を【満たしたチーム】VS【満たさないチーム】の対戦は2-0で開始されるアドバンテージスタートが初めて適用になりました。



運営面では第1節が12試合、第2節は14試合、今回第3節はシリーズ中最も試合数が多い16試合をおこない第1試合は11:40スローオフとなりました。また、前回同様に階段状の合同教室を選手控スペースとして借用させていただきました。

この日の試合展開は最終成績が決まるとあって全体的にピリツとした感じというか緊張を感じる雰囲気でしたが大きな事故なく、無事、全日程を終了することができました。



【全対戦 最終結果】 第3節 / 2月22日 終了

BEE LEAGUE 2025		GOALDODGE COMPETITION 【対戦結果表】																																			
表の見方		S①-S④ 第1ラウンド 9/21 実施の12試合				N①-N④ 第2ラウンド 11/9 実施の14試合				F①-F④ 第3ラウンド 2/22 実施の16試合				勝点				勝点合計				得点				失点				得失点				最終順位			
チーム	対戦相手	勝	敗	引	勝点	対戦相手	勝	敗	引	勝点	対戦相手	勝	敗	引	勝点	対戦相手	勝	敗	引	勝点	勝点	勝点合計	得点	失点	得失点	得失点差	順位										
NONAME	深大寺アブレイズ	9	6	3	9	4	3	3	16	0	2	7	0	3	18	0	0	9	0	12	63	120	▲57	5													
深大寺アブレイズ	M.D.Cペディ	6	9	0	16	6	3	2	14	0	2	16	0	1	18	0	0	14	0	6	51	174	▲123	6													
M.D.Cペディ	NDC	4	9	0	6	16	0	6	10	2	19	3	17	0	1	12	0	0	50	150	▲100	7															
NDC	M.D.Cウィル	16	3	3	14	2	3	10	6	3	9	11	0	9	12	0	4	7	0	21	126	92	34	4													
M.D.Cウィル	チャレンジファイターズ	7	2	3	16	2	3	19	2	3	11	9	3	12	9	3	6	11	0	30	131	72	59	2													
チャレンジファイターズ	style	18	3	3	18	1	3	17	3	3	12	9	3	9	12	0	6	10	0	24	174	85	89	3													
style	NONAME	9	0	3	14	0	3	12	1	3	7	4	3	11	6	3	10	6	3	33	140	42	98	1													

【MVP賞 全投票結果】

- | | | | | | |
|----|-------------|-------|----|-------------|--------|
| 6票 | 深大寺アブレイズ | 佐熊 峻 | 2票 | NONAME | 齋藤 展希 |
| | | | 2票 | NONAME | 小野 榛奈 |
| | | | 2票 | NONAME | 宮生 彩子 |
| 4票 | NONAME | 吉田 誠 | 2票 | 深大寺アブレイズ | 田中 菜音楽 |
| 4票 | M.D.Cペディ | 山口 優 | 2票 | M.D.Cペディ | 荻野 結衣 |
| 4票 | チャレンジファイターズ | 稲葉 俊 | 2票 | M.D.Cペディ | 肥後 毅 |
| 4票 | style | 乙川 統央 | 2票 | M.D.Cペディ | 菅 悠次郎 |
| | | | 2票 | M.D.Cペディ | 宮 朱利 |
| 3票 | 深大寺アブレイズ | 田中 智之 | 2票 | チャレンジファイターズ | 山川 幸輝 |
| 3票 | M.D.Cウィル | 名知正登 | 2票 | チャレンジファイターズ | 太田 侑登 |
| 3票 | M.D.Cウィル | 中村 光佑 | 2票 | チャレンジファイターズ | 永田 美海 |
| 3票 | NDC | 根岸 佑至 | 2票 | チャレンジファイターズ | 齋藤 帆花 |
| 3票 | NDC | 佐野 良太 | 2票 | style | 稲垣 健太 |
| | | | 2票 | style | 福本 貴史 |
| | | | 2票 | M.D.Cウィル | 菅原 滉生 |
| | | | 2票 | M.D.Cウィル | 中村 光春 |
| | | | 2票 | NDC | 黒沢 雅悠 |
| | | | 2票 | 個人申込 | 仲 望杜 |

1票	深大寺アブレイズ	入 英樹	1票	style	佐藤 遼平
1票	NDC	松島 優世	1票	style	吉瀬 雄大
1票	NDC	高橋 天翔	1票	style	吉井 風真
1票	NDC	東條 菜月	1票	M.D.Cウィル	伊佐 一輝
1票	個人申込	飽田 祐大	1票	M.D.Cウィル	安田 雅泉
1票	個人申込	松本龍之介			

投票結果の通り全12対戦して半数の6票を獲得したこと、ならびに主催者による最終判断でも満場一致にて **深大寺アブレイズ所属の佐熊 峻さんをリーグMVP賞に選出**いたしました。

【ゴールセーブ賞 集計結果】

BEEリーグ2025 ゴールセーブ個人記録 一覧表				参考	
順位	所属チーム	氏名	save数	get数	total
1	NONAME	吉田 誠	54	14	68
2	style	福本 貴史	45	8	53
3	M.D.Cベディ	菅 重博	41	4	45
4	M.D.Cウィル	名知 正登	38	6	44
5	深大寺アブレイズ	田中 智之	36	3	39
6	NDC	東條 菜月	31	7	38
6	NDC	松島 民世	30	0	30
8	チャレンジファイターズ	稲葉 俊	30	5	35
9	深大寺アブレイズ	入 英樹	29	1	30
10	M.D.Cウィル	中村 光春	20	5	25
11	M.D.Cベディ	山口 優	19	4	23
12	M.D.Cウィル	伊佐 一輝	14	23	37
13	チャレンジファイターズ	愛甲 隆行	13	12	25
13	style	稲垣 健太	13	7	20
15	NONAME	佐藤 秀哉	8	1	9
15	深大寺アブレイズ	富本 貴弘	8	1	9
17	M.D.Cベディ	名知 陽日太	7	2	9
18	深大寺アブレイズ	佐熊 峻	5	7	12
19	NDC	大杉 健斗	4	3	7
19	NDC	松島 優世	4	9	13
19	チャレンジファイターズ	永田 美海	4	21	25
22	NONAME	加藤 誠樹	2	1	3
22	NONAME	金邊 穂純	2	4	6
22	M.D.Cウィル	安田 雅泉	2	13	15
25	M.D.Cベディ	益田 英梨	1	0	1
25	NDC	山田 裕太	1	5	6
25	style	馬込 恋乃	1	8	9
25	style	佐藤 遼平	1	7	8

御覧の通り、圧倒的なスコア差で **NONAME 所属の吉田 誠さんがゴールセーブ賞に輝きました！！**

【ゴールゲット賞 集計結果】

BEEリーグ2025 ゴールゲット個人記録 一覧表				参考	
順位	所属チーム	氏名	get数	save数	total
1	style	乙川 統央	59	0	59
2	チャレンジファイターズ	齋藤 帆花	33	0	33
3	NDC	黒沢 雅悠	26	0	26
4	M.D.Cウィル	伊佐 一輝	23	14	37
4	チャレンジファイターズ	山川 幸輝	23	0	23
6	M.D.Cウィル	菅原 凜生	22	0	22
7	チャレンジファイターズ	永田 美海	21	4	25
7	M.D.Cウィル	中村 光佑	21	0	21
9	NDC	佐野 良太	18	0	18
10	style	吉瀬 雄大	16	0	16
11	style	吉井 風真	15	0	15
12	NONAME	吉田 誠	14	54	68
13	M.D.Cウィル	安田 雅泉	13	2	15
13	チャレンジファイターズ	太田 侑登	13	0	13
15	NDC	根岸 佑至	12	0	12
15	NDC	高橋 天翔	12	0	12
15	チャレンジファイターズ	愛甲 隆行	12	13	25
18	①style、②NONAME	鮑田 祐大	11	0	11
19	NDC	松島 優世	9	4	13
20	①NONAME、②NDC	仲 望杜	8	0	8
20	M.D.Cベディ	菅 悠次郎	8	0	8
20	style	稲本 貴史	8	45	53
20	style	馬込 恋乃	8	1	9
24	深大寺アブレイズ	田中 菜音葉	7	0	7
24	深大寺アブレイズ	佐熊 峻	7	5	12
24	NDC	東條 菜月	7	31	38
24	style	稲垣 健太	7	13	20
24	style	佐藤 遼平	7	1	8
29	NONAME	宮生 彩子	6	0	6
29	NONAME	小野 榛奈	6	0	6
29	M.D.Cベディ	荻野 結衣	6	0	6
29	NDC	國安 大樹	6	0	6
34	M.D.Cウィル	和泉 漣	5	0	5
34	深大寺アブレイズ	村山 維史	5	0	5
34	NDC	山田 裕太	5	1	6
34	M.D.Cウィル	中村 光春	5	20	25
34	チャレンジファイターズ	稲葉 俊	5	30	35
39	NONAME	金邊 穂純	4	2	6
39	NONAME	齋藤 展希	4	0	4
39	M.D.Cベディ	菅 重博	4	41	45
39	M.D.Cベディ	山口 優	4	19	23
43	深大寺アブレイズ	菅原 怜央	3	0	3
43	深大寺アブレイズ	田中 智之	3	36	39
43	NDC	大杉 司	3	0	3
43	NDC	大杉 健斗	3	4	7
43	NDC	渡邊 優希	3	0	3
48	M.D.Cベディ	名知 陽日太	2	7	9
48	M.D.Cベディ	肥後 毅	2	0	2
48	M.D.Cベディ	肥後 実見子	2	0	2
51	NONAME	佐藤 秀哉	1	8	9
51	NONAME	加藤 誠樹	1	2	3
51	①②NONAME	松本 龍之介	1	0	1
51	深大寺アブレイズ	入 英樹	1	29	30
51	深大寺アブレイズ	富本 貴弘	1	8	9
51	深大寺アブレイズ	原 和泉	1	0	1
51	M.D.Cベディ	宮 朱利	1	0	1
51	M.D.Cベディ	井上 碧	1	0	1
51	NDC	関岡 海音	1	0	1
51	チャレンジファイターズ	山川 秀孝	1	0	1
51	チャレンジファイターズ	愛甲 勤太	1	0	1

BEE リーグシリーズ全戦での得点を挙げた選手すべてをリスト化しました。

ゴールゲットの集計でアドバンテージポイントは考慮せず、ゴールインした数値となります。

こちらもさらにダントツなスコア差をもって style 所属の乙川 統央(ミレ)さんがゴールゲット賞を獲得いたしました！！

【MVP賞】

【ゴールセーブ賞】

【ゴールゲット賞】

上記、個人賞を獲得した

皆さんには賞品を後日、

お渡しいたします。

(受け渡しについて事務局

より直接、連絡いたします)



※ゴールセーブ賞／ゴールゲット賞の集計

および後日の確認チェックについて

試合中、これらの記録のカウント付けは各々チームメンバーの皆さんにお願いしました。

したがって数値の正確さについては主催者が業務としておこなっておらず、正確さについての保証ができませんが、試合結果のスコアと照合するなどの確認作業はおこなっています。

その時点で、明らかに間違いがあると思われる場合、微修正を施した集計値となっています。

(例えばゴールゲットの集計値がスコア表の結果の得点よりも多い場合は状況からの判断で減らす。しかし、集計値が少ない場合は手の施しようがなく、そのままの数値での集計としています)

【BEE リーグ ゴールドタッチ大会全体報告】

参加者数	回節	年月日	選手	保護者/スタッフ
	第1節	2025年9月21日	43名	約40名
	第2節	2025年11月9日	37名	約30名
	第3節	2026年2月22日	41名	約30名
	合計 延べ		121名	約100名

この大会は協会でも初めておこなう複数の事項を導入、採用した稀有な大会でした。具体的に挙げると

- ・本格リーグ戦を複数日程でおこなったこと、
 - ・各チームにリアルに集っていただきキャプテン会議を大会の事前実施したこと、
 - ・個人参加者を集い、要件者を集められなかったチームへの救済制度を導入したこと、
 - ・アドバンテージポイントとアドバンテージスタート制度を導入したこと、
 - ・キャプテン会議でM I X要件者の扱いとアドバンテージ制を選手の意思で最終決定したこと、
- と一度にいろいろとやり過ぎたかと、反省もありましたが無事に全日程、終了することができました。

今大会のチーム成績の総得点・総失点はアドバンテージポイント・アドバンテージスタートの導入によって正確な得・失点ではありませんが個人成績のデータがあるため、チームの**ゴールセーブ率**を出してみました。

- 1)チーム成績の失点 <アドバンテージ制だが> 2)ゴールセーブ個人記録をチームごとに積算
 3)= <1)+2)> シュートを撃たれた総数 4)= <2)÷3)> **ゴールセーブ率**

	1)総失点	2)個人セーブ計	3)シュート被弾数	4)セーブ率
1位 style	42	60	102	58.8%
2位 M.D.C ウイル	72	74	146	50.6%
3位 チャレンジファイターズ	85	47	132	35.6%
4位 NDC	92	70	162	43.2%
5位 NONAME	120	66	186	35.4%
6位 深大寺アブレイズ	174	78	252	30.9%
7位 M.D.C ペディ	150	68	218	31.1%



1/2 位は 50%を超えるセーブ率となっており、キーパーの動きが勝利貢献に大きく寄与することがわかります。また個人記録の対象人数は NDC が最大で 5 人、チャレンジファイターズが最小の 3 人でした。

全体的に概ね最終順位とセーブ率は比例していますがこの 2 チームが順位とセーブ率が逆転している事、さらにはセーブ率の数値が大きく逆転していることは大変、興味深いデータだと思います。

ちなみに他チームはすべて対象者が 4 人となっており、ゴールドドッチの特長である選手は誰でもキーパーを務めることができる点のはっきりと見えていることが面白いと思います。

優勝した style は大会第 3 節の人数は全チーム中、最小の 5 人ながらも体力の消耗をできるだけ少なくする特徴的プレーを紹介しますとキーパーが相手のシュートスローをクリーンキャッチ、すぐさま相手ゴール前にロングパスを投げてフリーな状態でシュートを放つ連携プレーを複数回、決めていました。

最後の 1 戦で敗戦したものの少人数ながらも危なげなく、多くの対戦をこなしたことは印象的でした。



優勝した style

のゲームキャプテン 福本さんに大会全体を通しての感想を聞いたところ、アドバンテージポイントやアドバンテージスタートの導入やひとつの総当りリーグ戦方式で大会を複数日程でやることは和気あいあいで楽しむ方向性を

目指したものと理解したが、勝利を目指して都度都度、勝負が決まる単独大会が複数ある方がおもしろい、という考え方もある。との意見をいただきました。



チーム参加賞としてクラブジュニア様よりカモフラディスク 2 枚をチームに進呈いたしました。
(3 節不在 2 チームには後日)

BEE リーグ ゴールドドッチ大会はいろいろな意味で本当に勉強になった大会でした。今後どのように運営していくかを検討してより良い大会にする所存ですので宜しくお願いいたします。

